

第三次名張市子ども読書活動推進計画施策総括

令和5年11月

名 張 市

名張市教育委員会

目 次

- 1. 指針1：家庭、保育所（園）及び幼稚園・認定こども園等における読書活動の推進 1
- 2. 指針2：小・中学校における読書活動の推進 3
- 3. 指針3：市立図書館における子どもの読書活動の推進 5

第三次名張市子ども読書活動推進計画総括

指針1:家庭、保育所(園)及び幼稚園・認定こども園等における読書活動の推進

令和5年10月作成

1 絵本の充実と整備

施策・方針	総括	
	成果	課題
ア 絵本等の整備費の確保を図り、子どもの年齢やそれぞれの発達に応じた絵本と、子どもが魅力ある本を手にとって見ることができる環境を充実させます。	・保育所(園)・認定こども園及び幼稚園等において、図書の充実と図書館団体貸し出しなど利用し、年齢や発達に応じた絵本の読み聞かせや絵本コーナーを充実させ、子どもが見たい時や親子で手に取って絵本を楽しめるようにしました。 ・コロナ禍で、園での絵本の貸し出しや図書館訪問等に取り組む施設の減少がみられました。しかし、コロナ禍だからこそ家庭で絵本に親しめるよう興味の広がりをねらい、自分の体や健康に興味を持てるような本をはじめ、ジャンルの幅を広げた環境を作ること、手にしてみたり親子で話すなど身近なことに興味を示す姿がみられるようになりました。	・絵本の充実と整備を行うため、絵本コーナーの充実等の環境づくりに向けての取組を引き続き継続していく必要があります。 ・各施設の絵本の整備には限りがあることから、市立図書館の児童サービス担当司書と連携を図り、また団体貸出や移動図書館を活用し、幅広いジャンルの絵本に触れる環境作りを行うことが必要です。
イ 子どもと本の出会いをより充実させるために、保育所(園)及び幼稚園・認定こども園等は、図書館訪問や移動図書館、団体貸出の活用を推進します。		

2 読書活動推進のための取組

施策・方針	総括	
	成果	課題
ア 保育士や保育教諭、幼稚園教諭を対象に、子どもの年齢、成長に適した選書や読み聞かせの効果的な方法等を学ぶ研修を充実させます。	・保育士、幼稚園教諭のスキルアップを図るため、読書や選書に関わる内容の研修の情報を提供し行いました。園内研修やWEB研修を活用しながら職員の選書能力や読み聞かせ技術のための研修を実施しました。 ・企業等の寄付によりブックスタート事業が継続出来ています。また、開催場所の見直しを図ることで、参加親子数はわずかではあります参加率が向上しました。令和2年度(コロナ1年目・49%)令和4年度(54%) ・各保育所〔園〕・幼稚園ではなかよし広場の時間に、またこども支援センターかがやきやマイ保育ステーションでは読み聞かせの日を決め定期的に実施し、未就園児のいる家庭に向け、乳児期からの読書習慣を育むことの大切さを伝えるための取組を継続しました。 ・保育所(園)・認定こども園及び幼稚園等において、コロナ禍で施設での安全環境を優先し、外部からのボランティア等の受け入れを中止しましたが、担任以外の保育士等の読み聞かせを定期的に行い、絵本の楽しさを感じる機会を多く持つ事ができました。 ・「子ども読書の日」の取り組みに関しては、数値が下がっていますが、毎日絵本の読み聞かせをしていることや、保護者啓発も年間を通しておすすめ絵本を紹介するなど日常的な取り組みをしている。	・保育所(園)・認定こども園及び幼稚園等でのボランティアによる読み聞かせをコロナ禍で見合わせている施設もありましたが、施設内で保育士による読み聞かせの充実に努めていくと共に、コロナが5類感染症に移行したことから外部の方との触れ合いを再開し、読み聞かせボランティアの活用や、読み聞かせの他、絵本の管理等ボランティアの導入も検討していくが必要です。 ・引き続き、保育士・幼稚園教諭の選書の能力や読み聞かせの技術等を高めていく必要があります。 ・保護者に子どもの読書の大切さを考える機会となるよう、定期的な発信や「子ども読書の日」に関した取組を各園で実施していく必要があります。
イ 保護者と子どもが本を介してコミュニケーションを深めるために、ブックスタート事業を継続するとともに、保護者向けの読書活動に関する講座を開催する等、家庭、保育所(園)及び幼稚園・認定こども園等へ積極的に支援します。		
ウ こども支援センターかがやきやマイ保育ステーションでは、乳幼児期からわらべうたや読み聞かせ等に親しむ時間を十分確保し、子どもが絵本に出会うきっかけづくりを充実させます。		
エ こども支援センターかがやきやマイ保育ステーション、保育所(園)及び幼稚園・認定こども園等でそれぞれの課題を整理しつつ、子育て支援員の活用や市立図書館との協働により、読み聞かせや読書環境の整備等、ボランティアの効果的な活用を推進します。		
オ 「子ども読書の日」の周知を図り、保育所(園)及び幼稚園・認定こども園等において、子どもが絵本に親しめる環境整備に取り組みます。		

【数値目標】

成果指標	目標値	令和4年度実績
「子ども読書の日」に向けた取組を実施している施設	17施設	11施設

※数値は令和5年3月末現在

第三次名張市子ども読書活動推進計画総括

指針2:小・中学校における読書活動の推進

令和5年10月作成

1 学校図書館の資料の充実

施策・方針	総括	
	成果	課題
ア 各学校の実情に応じた図書館資料の整備を、蔵書比率を考慮しながら推進します。	・分類ごとの蔵書比率に鑑み適切な購入を努めるとともに、内容が古くなった本や傷みが目立つ本など、利用できない資料の廃棄作業を進めました。また、子どもが教科等の学習で必要とする資料や教職員が子どもに勧めたい本等、資料の充実に努めました。 ・学校図書館充実事業を実施し、学校図書館の環境整備を行うとともに、先進事例について広く各校に周知し、魅力ある学校図書館となるよう取り組みました。 ・市内の学校図書館図書標準の平均は、第三次名張市子ども読書活動推進計画の策定当初と比較すると、小中学校とも上昇しています。 ・ふるさと学習の推進のため、ふるさと学習「なばり学」学習資料の改訂を行い、市内小中学校の児童生徒に配付しました。 ・市立図書館と連携、協力を図りながら学校図書館の資料の充実に努めました。	・学校図書館図書標準については、小中学校共に上昇していますが、100%を達成した学校は1校でした。今後も引き続き、資料の充実に努め、学校図書館図書標準の達成率の向上に努める必要があります。 ・市立図書館が実施している学校への支援内容をきめ細かく周知するとともに、学校での調べ学習や読書活動がしやすいように市立図書館との連携を一層図る必要があります。
イ ふるさと学習「なばり学」を促進するため、名張の地域教材等、多種多様な形態の資料の収集を推進します。		
ウ 市立図書館等と協働し、団体貸出等を利用しながら、子どもや学校のニーズに応える図書の整備を推進します。		

2 人的体制の整備

施策・方針	総括	
	成果	課題
ア 学校司書を引き続き配置し、更に増員することで、各学校の図書館整備と子どもの読書活動を推進します。	・学校司書が市内の小中学校を巡回し、司書教諭をはじめとする図書館教育担当者と協働し、学校における子どもの読書活動を推進してきました。学校司書が子どもの委員会活動や、授業への支援、ブックトークや図書館の利用の仕方等のオリエンテーションを行いました。これらの取組により、学習が深まり読書の幅が広がる等の成果が表れています。 ・教育センター教育専門員が各校を巡回、図書館教育担当者と面談し、各校の取組を把握するとともに支援を行いました。 ・図書館教育担当者や学校司書等を対象とする研修講座を開催しました。学校図書館の役割や活用の仕方、図書館教育担当の役割等、具体的な取組方法について研修しました。また、学校図書館ボランティアや学校司書を対象とする研修講座を実施しました。学校図書館ボランティアが情報交換し、ボランティアの幅を広げる交流会の場にもなりました。これらの取組により、図書館教育担当者、学校司書、学校図書館ボランティアの資質を向上させ、学校図書館の人的体制の充実を進めることができました。	・市内全小中学校に司書教諭資格保持者を配置していますが、授業や学級経営等により、学校図書館活動を指導できる時間は限られています。そのため、引き続き学校司書を配置し、司書教諭や図書館教育担当者をはじめとする教職員と協働し図書館教育を推進していく必要があります。 ・今後も研修講座を開催することにより、図書館教育担当者や学校図書館ボランティア、学校司書の資質を向上させ、学校図書館教育の充実を進める必要があります。
イ 教育センターと各学校の司書教諭等が情報を共有し、協働しながら学校図書館の充実にに向けた支援体制を確立します。		
ウ 司書教諭等や学校司書、学校図書館ボランティアの資質能力の向上を目指し、より一層研修を充実します。		

3 読書活動推進のための学校の取組

施策・方針	総括	
	成果	課題
ア 多様な読書活動を各教科等の指導計画に位置付け、調べ学習等における学校図書館の活用を推進します。	・学校図書館を活用した授業が計画的に行われるよう、学校図書館の役割を明記した各学年の年間指導計画をすべての学校で作成しました。各校では、教科等の学習の中で学校図書館を活用しているほか、「朝の読書」等で時間を確保し、子どもが落ち着いて本に親しむ習慣づくりを実施しました。また、学校図書館での資料の展示、本の紹介や学校図書館ボランティア等による読み聞かせ等、子どもが本に興味を持ち読書の幅を広げる取組を行いました。 ・地域づくり組織等と協力した長期休業中の学校図書館の開放や、地域ボランティアによる読み聞かせや掲示物の作成、整理修繕等を行い、地域とともに子どもの読書活動を推進しました。 ・各校の子どもによる委員会活動では、子ども自らが読書活動の推進役となって、校内放送や動画作成、ポスター掲示、図書だよりの発行等によるおすすめ本や新刊本の紹介をするなど、工夫した取組を行いました。 ・家読(うちどく)ブックリストやとしよだよりを配布し、保護者や地域に家読(うちどく)を周知し、家庭における読書習慣を推奨しました。	・子どもの読書量や学校図書館の1人当たりの貸出冊数は、学年が上がると共に減少する傾向があります。各校の図書館教育担当者をはじめとする教職員が実態を把握、共有し、読書活動推進の取組を進めていく必要があります。 ・すでに多くの学校では、保護者や学校図書館ボランティア等による読み聞かせや環境整備が行われており、読書活動の推進と共に学校図書館が子どもの居場所づくりにもつながっています。今後はボランティア等と協力し、学校図書館を地域に開放する等、コミュニティ・スクールの取組の一つとして、子どもの読書活動を一層効果的に推進することが必要です。
イ 学校図書館ボランティア等と協力し、読み聞かせや環境整備、図書館資料の整備等に取り組み、学校図書館を地域に開放する等、コミュニティ・スクールと連動させた学校図書館の充実を推進します。		
ウ ファミリー読書(家読(うちどく))を保護者等へ周知し、積極的に推進します。		
エ 市立図書館等と協働し、図書館職員による学校訪問等を利用しながら、学校図書館の活性化を推進します。		

【数値目標】

成果指標	目標値	令和4年度実績
全国学力・学習状況調査の質問「学校の授業時間以外に、ふだん(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか」において、30分以上と回答する児童生徒の割合。(教科書・参考書、漫画雑誌は除く)	【小学生】 40% 【中学生】 30%	【小学生】 31.0% 【中学生】 21.2%

※小学生の数値は小学校6年生児童、中学生の数値は中学校3年生生徒(全国・学力学習状況調査実施学年)

※数値は令和5年3月末現在

第三次名張市子ども読書活動推進計画総括

指針3:市立図書館における子どもの読書活動の推進

令和5年10月作成

1 市立図書館の資料の充実

施策・方針	総括	
	成果	課題
ア 保育所(園)及び幼稚園・認定こども園等や、学校図書館への団体貸出に配慮した児童書の収集を行います。	・児童書の購入を進め、児童書の充実を図りました。 ・大型絵本等の団体貸出用の児童書を収集し、学校での読み聞かせ等に活用いただきました。 ・ブックキャラバン(現物選書)や寄贈本の受入等も含めて、内容が古くなったり、傷みが激しくなったりした児童書の更新を進めました。 ・活字や日本語による読書が困難な子どもの利便性の向上に向けて、点字図書、録音図書や外国語の図書購入に係る情報収集を行いました。	・コロナ禍により、利用者が減ったことで、児童書貸出冊数が大きく減少し、目標を達成できませんでした。今後、利用者数が戻ってくるような、魅力ある図書館づくりをする必要があります。
イ 長く読み継がれて傷みが激しくなった児童書を更新します。		
ウ 身体の不自由な子どものための点字図書や録音図書・外国人の子どものための外国語の図書の充実を推進します。		
エ 図書館資料として利用できる、電子書籍等の情報収集に努めます。		

2 人的体制の整備

	総括	
	成果	課題
ア 児童サービスに関する専門的な知識を修得した、児童サービス担当司書を継続して配置します。	・児童サービスに関する専門的な知識を修得した、児童サービス担当司書を配置し、利用しやすい児童書コーナーのレイアウトや児童の来館につながる企画展示等を実施しました。 ・職員やボランティアの児童サービスの技術力の向上につながる研修会等を教育センターと共同で、計画期間中に14回実施しました。 ・ボランティアに向けた、情報発信やボランティア会議等を通じて組織主体の事業推進を図りました。	・引き続き、子どもと本のつなぎ手となる専門的な知識と技術を有する図書館司書の配置とともに、様々なボランティアの協力を得た多様な事業展開が必要です。
イ 職員やボランティアの児童サービスの技術力の向上につながる研修等を、教育センターと協働して実施します。		
ウ 市立図書館のボランティアや、学校図書館ボランティアのほか、子どもの読書活動にかかわるボランティアグループの体制づくりを進めます。		

3 地域における子どもの読書活動推進のための取組

	総括	
	成果	課題
ア 子どもを対象にしたサービスの内容や催しの在り方を再検討して、子どもが興味を持ち参加したくなる催し物等を開催することで、子どもの読書活動を積極的・計画的に推進します。	・計画期間中、おはなし会等に、延べ2,735人、拡大版おはなし大会に延べ87人、としょかんまつりおはなし大会に延べ275人の参加を得て、地域における子どもの読書活動を推進することができました。 ・児童コーナーに、「ちしきの絵本」・「えいごの絵本」コーナー設置等の絵本の設置コーナーの充実を図りました。 ・保育所や保健センター、公民館(市民センター)等の子育てを支援する施設に移動図書館の巡回を行いました。 ・団体貸出については、年度により増減はありますが、増加傾向にあります。 ・県立高等学校司書からアドバイスをいただくとともに、高校生ビブリオバトルへの後援やリサイクル本の提供を県立高等学校へ行いました。また、自習席を設置しました。 ・子育てを支援する組織等と協働し、ブックスタート事業や子ども向けに児童書の特集展示を実施しました。 ・赤ちゃんを連れた利用者が気兼ねなく図書館を利用できるように赤ちゃんタイムを導入しました。	子育てを支援する施設(こども支援センター・市保育施設等)や子どもの読書活動を推進する主体(学校図書担当者等)との協働が、引き続き必要です。
イ 児童サービス担当司書が中心となり、いつでも児童書についての質問や読書相談に対応できるようサービス内容の充実を図ります。		
ウ 保育所(園)及び認定こども園・幼稚園等の、団体貸出利用を促進します。		
エ 県立高等学校図書館や高等専門学校図書館との連携を深め、相互の図書館の効果的な活用を図ることにより、ヤングアダルトを対象にしたサービスを充実します。		
オ 子育てを支援する様々な主体と協働して、親子がくつろいで読書を楽しめる環境づくりを進めます。		

4 市立図書館による学校図書館支援

	総括	
	成果	課題
ア 小・中学校の司書教諭等や学校司書及び県立高等学校司書との連携を強化し、学校図書館支援を推進します。	・図書館協議会の小中学校校長会や県立高等学校司書からアドバイスをいただくとともに、高校生ビブリオバトルへの後援やリサイクル本の提供を県立高等学校へ行いました。 ・図書館教育担当者や学校司書から、団体貸出に必要な資料を提案いただくとともに、情報収集を行い、必要な図書を収集しました。 ・施設見学(小学校17回)、職場体験(中学校9回、高校2回)の受け入れを行って、図書館への興味を深めてもらうことができました。 ・小学校の学校図書館を訪問し、ブックトークや読み聞かせを行うと共に、団体貸出や移動図書館の巡回により、学校の読書活動や調べ学習について、支援をすることができました。 - 小中学校の図書館教育担当者会を学校図書館支援の機会をとらえ、団体貸出の広報・利用拡充のための情報提供を推進しました。	学校に出向いての学校図書館支援については、コロナ渦で中止していましたが、以前と同様の支援が困難なため、それ以外の方法について、検討を進める必要があります。
イ 子どもの施設見学・職場体験を積極的に受け入れ、図書館への興味を深めることにより子どもの読書活動を推進します。		
ウ 学校に出向いてのブックトークや読み聞かせ等を行う学校図書館支援を継続します。		
エ 県立図書館が実施する可能な限りの児童書新刊全点収集を活用し、学校図書館支援を推進します。		

【数値目標】

成果指標	目標値	令和4年度実績
全貸出冊数のうち児童書貸出冊数	180, 000冊	110, 022冊

※数値は令和5年3月末現在